

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会
2004年度第3回常任幹事会議事録

●日時
2004年9月25日(土) 15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号室

●出席者
秋元圭一 [会長]
日野 高 [副会長] : 途中参加
甲斐光省 [副会長] : 途中参加
西田一成 [常任幹事] : 早退
渡部征明 [常任幹事]
大村政幸 [常任幹事]
浜村圭一 [常任幹事]
小山 弘 [常任幹事]
勝山昌幸 [常任幹事]
角谷祥子 [常任幹事]
藤原成理 [常任幹事] : 途中参加

●委任欠席
目須田修 (→西田氏)
菊池 満
西谷之男
松岡和彦
五野勝弘
三浦嘉久
川島昭作 (→西田氏)
岸 明美 (→西田氏)

常任幹事出席者11名
委任欠席者8名
定足数成立

●議事進行
議長・進行/小山 弘
●書記/大村政幸

●議題
議題1/
講演会・イベントの開催について

議題2/
会則検討委員会からの報告と意見交換

次回日程

●議事録
書記/大村政幸
校正・制作・文責/
秋元圭一・小山弘・角谷祥子

議題に入る前に事務局長の小山氏より本日の議題・予定表、広報担当の渡部氏よりセミナー開催及び工房体験ツアーの計画書が配られた。

議題1 講演会・イベントの開催について

●今年度の活動内容の変更

担当の渡部氏から「今年度は活動を行わずに来年度にしたい」との要請があった。理由としては企画・講演・進行などの各スタッフをきちんと決めて、体制を整えたいとの事だった。また、セミナー名に馴染み易い愛称をつけて定着をはかることや、将来的にホール等で開催したいなどの要望を述べた。渡部氏はさらに具体的な内容として、ホームページでの参加者の受付と、案内を送るためのメールマガジン発行の検討などについての意見を求めた。「(秋元)講演会に関しては渡部氏を中心に人員をピックアップして詰めてほしいと思っている。また、会議前の段階でもっと練られた状態にして検討しなければ進まないのではないか。メールマガジンに関しては別の議題として検討しなければならない」「(西田)セミナー受講者の対象を当初は学生に絞った方がよいのではないかと。例えば入学時のオリエンテーションの際に卒業生を講師に迎えるとか。もう一つは学園祭に充てるという、年二回の案でどうか。4、5回分の計画を一度立てて、息が続くかどうか様子を見てノルマ化する方がよいのでは」などの意見があった。

●それともなうメールマガジンの発行

さらに渡部氏から「メルマガの発行の体制をいづろ整えられるか検討して頂きたい。また、講演会の内容についてもアンケートで募集したい」「(秋元)まず、メールマガジンがほしいという人の確認が必要だと思う。ちなみに、学校側からの要請でアサシンを同窓会全会員に発送するのは中止という方向で進んでいるが、会務報告の予算はとってあるので同窓会ニュースは発行していく。その時にアドレス提供のお願いや、アンケートを載せて返信してもらってはどうか」「(勝山)メールアドレスをとってから、最初のメールでアンケートするのがよいのでは」「(小山)集まったものを整理するスタッフが必要」「(浜村)意見箱というか、みんなで創っていく物」「(大村)セキュリティーの問題を含め、発信に向けてウェブ委員会内で検討したい」「(秋元)情報の整理と配信までの準備はみんなでやって、個人の負担は減らしたい」とメールマガジン発行に対しては前向きに検討していくこととなった。

●同窓会ニュースとの連動

発行予定の同窓会ニュースで講演会・イベントの告知をする事に対し「(渡部)今年度の学園祭の講演会の報告、工房体験ツアーの募集などの情報に埋もれないよう、アドレス募集の欄を設けてほしい。ビジュアル的に魅力的にしたい」との要望があり「(秋元)アドレス提供のお願いとアンケートについてはパーティーの時と同じように返信ハガキを入れて費用がかからないようにしてはどうか」「(角谷)メールアドレスを得るためにはがきを返信してもらうのはナンセンスでは？メールに慣れている人は、ポストに投函するよりもパソコンで送ると思う。もし予算をとっているとしたら、アドレスを教えてください人に何かプレゼントを用意できないか」「(秋元)言われてみればそうだ。予算に関して、今回はアンケートの予定がなかったのとっていない」「(大村)パーティーの時のメールアドレスのある人と、パソコンを将来も使う予定のない人がいてその中間のあやふやな人達がこのハガキ版のアンケートでわかるとよい」などの意見交換後、先ほどの講演会・イベントに関して、今年度を準備期間として来年度から実行するという要請は挙手により承諾された。また、同窓会ニュースの内容等は渡部氏から工房体験ツアーの日程や予算の連絡をもらった後、小山氏と会長で構成を詰めていき、早めの発送を目標とする事になった。

議題2/会則検討と意見交換

●同窓会発足の経緯

まず、西田氏より同窓会発足の経緯が話され、意見交換が行われた。「(西田)通常の決定は常任幹事会でいい、大きい内容は幹事連絡会という形がよい。選挙に関してはよく動いてくれる人を全国的に別枠でつくればと思う。任期を伸ばすというのは不平等な気がする。任期が切れても再選される可能性もあるのでこのまま2年任期でいいのではないかと」「(秋元)大幅な会則改定をしようとは思っていない」「(渡部)顔の見えない選挙という意見や、若い世代が入ってこないという問題など、委員会で話し合っている事は無駄にならないよう現状を維持しつつ会則の調整が必要」「(秋元)世代間を断絶しないように努めたいと思っている」などの意見があった。

●検討委員会の報告

担当の甲斐氏より、前回の9月2日に行われた第2回会則検討委員会の報告が行われた。「(甲斐)常任幹事選出の際に他の科出身の人に投票できるように[科別の投票の廃止]、常任幹事候補になってもらうがよいかとの意志確認[常任幹事候補者への打診]、第1章・第3条(会則参照){母校の発展のために}{母校と会員相互の発展のために}という文言に変更するという3点でまとってきた」と述べた後、「(日野)打診の方法は別にしても、手間を省く事も含め常任幹事選出後の意思確認ではだめなのか？」との質問に対し「(甲斐)会議に出席してもらって率を高める為にも、初めからやる気のある方を見つけ出せたらと思う」と述べた。その他には「(日野)選挙の方法は会則では触れていないが任期が示されている為、毎年選挙がある事になっている。選挙と選挙の期間を伸ばせばと思う」「(秋元)幹事に提案を発信し最終結論を出す事になるので、常任幹事の任期と選挙方法をできる範囲まで煮詰めてから発信したい」などの意見が続いた。

所用の為、早退した西田氏の同窓会発足のいきさつを踏まえつつも、授業の為入れ替わりとなった日野氏の参加により意見の重複はあったが、改定の目的は同窓会の活性化である点と、任期の問題を年内に決着したいという意向がある中で、会則改定を次回くらいには決定したいという意見に落ち着き、改定する場合の選挙方法も含めて、次回の常任幹事会までに会則検討委員会内で話し合われる事となった。

次回日程

11月27日(土)15:00~の幹事会日時の確認をして議会は閉会した。